公園管理運営実践講習「Ⅲ」グループディスカッション　提案書

2024年 11月 10日
班番号　1 到王
進行役
書記係
発表者

タイトル

チョイボラ→体験→コミュニティーへ

～共につくる公園へ～

課題

- 敷居が高い
- 参加方法がわからない
- 自分にできるか不安…
- モチベーションが保てない！

- イベント
- 道具を置いておく
- 参加者に「チョコッと」プレゼント

じゃあ実際に
やってみよう！

STEP①
「ちょいボラ」

STEP②
「体験入ボラ」

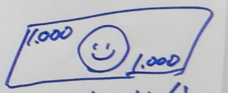
STEP③
「がっつり！ボランティア」

（参加方法の簡素化）

- アプリで申しこみ

※参加したらポイント付与！
10ポイント
5ポイントで1,000円分の
地域通貨と交換！

※オリジナルグッズと交換



ウレシイ！

モチベUP！

公園管理運営実践講習「 3 」グループディスカッション 提案書

2024 年 11 月 10 日	
班番号	2
進行役	
書記係	
発表者	

タイトル

[ボランティア組織の育成に向けた カスタマージャーニーマップ]

ゴール 市民全体がボランティアに参加！

ボランティアリーダーによる ねずみ の算

サイクル

接点 → 参加 → 参画 → 十分活動 → 地域の課題解決

接点

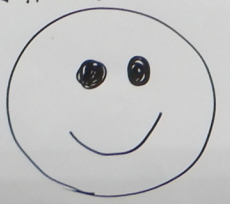
- 情報発信（知る！）
  - PR オネスト発信
  - 見習え！ドンキ!!
  - 平等な
  - どう発信するか、コトを知る。
- イベント（楽しい!!）
  - ちょいボラ
  - 花がら摘み 草刈り そうじ
  - ゲーミフィケーションで！
  - ゲームにして ボランティア活動を 楽しく

[公園]役割
SNS、HP、看板
相談窓口

[利用者]
玖王くんの 参画意欲



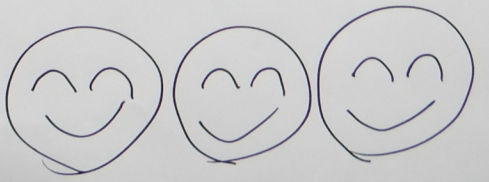
場所・資材提供
技術提供



参加

- ボランティア活動（公園）（やりがい!! 喜び・満足!!）
  - 組織化
  - 交流会の開催
  - 横のつながりを生む

技術提供、PR、資金提供
講習の開催（外部、専任アドバイザー コーディネーター）



参画

- ボランティア主導（社会）
  - リーダー育成、導
  - 技能伝承
  - 個人のスキルアップ。

協力者との橋渡し
自治体、地元企業
教育機関



公園管理運営実践講習「 Ⅱ 」グループディスカッション 提案書

2024年11月10日
班番号 3
進行役
書記係
発表者

タイトル

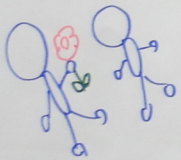
[公園からはじまる地域交流のプラットフォーム]

課題：地域ボランティアの希薄化

公園を～

多様な人が関われる場所にしたい！

植栽や教育の場となる公園となってほしい



花壇の管理の場の提供
エイジレスな学びの共有

教育

剪定、施肥等の講習会
ビオトープ管理
生物調査

公園管理者

ワークショップ

- ケケトンボ等の昔あそび
- 食べられる植物等[redacted]を利用したワークショップ
- 発生材を利用したワークショップ（マシュマロ）

ボランティア間のパークミーティング

海外の文化団体に主催してもらい交流

再利用

園内発生材の再利用、チップ化等
発生材によるおもちゃ作り

公園管理運営実践講習「Ⅲ」グループディスカッション　提案書

R6 年 11月 10日	
班番号	4班
進行役	
書記係	
発表者	

タイトル

[世代間ギャップを埋めるコーディネート]

少子高齢化により交流（つながり）が減少した地域..

課題
- 地域コミュニティの衰退
- 治安悪化

高齢者を中心とした地域ボランティアを結成!!

- 見守り隊によるあいさつ運動!
- みんな参加で美化活動!
- 高齢者を講師とした子供たち向けのワークショップ・イベントの開催
  - 竹とんぼづくり
  - 紙芝居
  - 地域文化の継承
  - etc.
- 笑顔になる花壇づくり



- ★治安の改善!!
- ★地域活性化!!

公園管理運営実践講習「Ⅲ」グループディスカッション　提案書

タイトル

[世代をつなぐ～里山スタイル～]

R6年11月10日	
班番号	5
進行役	
書記係	
発表者	

フィールド：里山公園

地域の課題

地域の高齢化

解決に寄与するボランティア

- まずは知ってもらう！→広域から親子世代を呼ぶ
- 地元高齢者の活躍の場の提供
- 子供や若者が参加しやすい遊び方を教えるボランティア

公園管理者ができること！

- 安全な環境づくり
- 広報
  → 保育園等と連携してターゲットをしぼる
- 行政との連携調整





公園管理運営実践講習「 3 」グループディスカッション 提案書

2024年 11月10日
班番号 6班
進行役
書記係
発表者

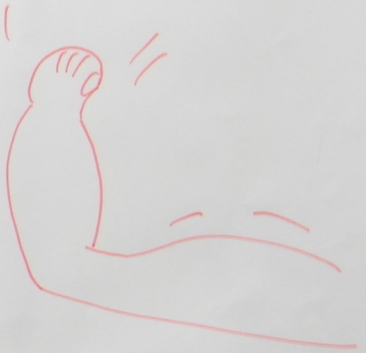
タイトル

[ほりおこせ 地域にねむった 底力!!]

課題

地域住民の高齢化
=
ボランティアの高齢化

地域コミュニティの減少
=
活動力のマンネリ化



解決策

- 地域の教育機関の活用
- 地域企業のCSR活動誘致

- 協議をほっそくし
  ニーズのほりおこし
- ワークショップの開催

公園管理者がつなげる!

公園管理運営実践講習「 皿 」グループディスカッション　提案書

	6年 11月 10日
班番号	7 班
進行役	
書記係	
発表者	

タイトル

[人と人とをつないで ～ ○○○]

〈問題点・課題〉

・ボランティア団体員の高齢化

・団体構成員の資質や意識がまちまち

・いかにして公園の協力者・協団体を募るか？

イベントや体験会を通じて

↓

公園の魅力を再発見!!

↓

地域・企業等と共に公園をつくっていく!!

〈解決策〉

・おじいちゃん・おばあちゃんに孫を連れてきてもらい、若返りを図る!!

・勉強会や情報交換を行って他団体・他公園と交流をもめる
→ルールづくりは管理者が主導

・学校や保育園等の実習や体験の場として活用！
→WinWinの関係

世代間交流の場としても重要

公園管理運営実践講習「Ⅲ」グループディスカッション　提案書

タイトル
[公園から地域の「わ」を広げる]

2024年 11月 10日	
班番号	8
進行役	
書記係	
発表者	

課題　利用目的の違いによる衝突
　　世代間交流の少なさ

利用者
- 犬の飼い主
- 野鳥愛好家
- こども

イベントでつながる

管理者
- 好事例の視察
- 犬のマナー啓発教室
  野鳥観察ツアーの開催
- チラシ作成など広報
- SNSなど情報ツール活用

愛着のある地域作り

輪

地域の和を広げるお手伝い

公園管理運営実践講習「Ⅲ」グループディスカッション　提案書

令和6年11月10日	
班番号	9班
進行役	
書記係	
発表者	

タイトル

[ボランティアはバラより美しい ※とげに注意]

基本情報　市営のバラ園．ボランティア200名以上（40~80代中心）
隔日10~12時活動

ボランティア

メリット

- 内容の満足度が高い
- 知識の向上
- 人気の場所で活動ができる

デメリット

- 仲が悪い
- 派ばっかができる
- 今後つづくとは限らない…

管理団体

メリット

- 作業が進む
- 職員のレベルアップにもなる
- お金がかからない

デメリット

- 技術の継続がとぎれない
- 職員よりもボランティアが強い

今後の展望

※持続可能な管理運営をするために
新たな担い手を獲得する
→管理者主体のPR活動力（SNS発信　イベントへの参加呼びかけ）

公園管理運営実践講習「Ⅲ」グループディスカッション　提案書

2024年11月10日	
班番号	10班
進行役	
書記係	
発表者	

タイトル
[多世代参加型公園のあり方]

課題

① 高齢化、固定化
② ボランティアのほうがえらくなる
③ 情報伝達不足

職員より知識と経験が多い

解決策

・コーディネーター、サポーターの配置
→ コミュニケーション能力にたけた人、専門知識のある人

作業するだけが目的でなく、その人と一緒にコミュニケーションがある、交流があるが目的にもなると、参加意欲がでる！

・ターゲットごとに有効な情報発信ツールを用いる
→ 若者・子育て世代：SNS
高齢者：チラシ配布、対面による声かけ
全世代：ボランティア主体のイベント
（植物植え付け体験、ガイドツアー、花つみ体験）

それをSNSや口コミで広まっていくとGood!

別に両方ともに発信しても全然ok!!

公園管理運営実践講習「Ⅲ」グループディスカッション　提案書

2024 年 11 月 10 日
班番号　11 班
進行役
書記係
発表者

タイトル

[外国人も楽しめる公園づくり ～ボランティアで架け橋～]



観光
居住者

近年
外国人利用者
増加している
公園

課題
・ルールが
わからない
マナーが悪い

勝手にたき火しちゃう…
ヤバいじゃろ…

対応として…

外国の方へのサポート必要
⇩
ボランティア

国は来園者属性にあわせて効率的にしぼって多言語化

外国人講師を招いて講習

公園管理者がボランティア育成するためにできること

ボランティアに協力してもらおう！
- 自治会 助けてください！ → 公報誌だして
- 掲示板で公募

公園管理者もその国の文化を学び取りそう

上がるためには
- ◎巡視ボランティア育成
- ◎外国人ボランティアを探す
- ◎外国人をターゲットにしたルール周知のイベント開催

◎近くの学生の力をかりる

公園管理運営実践講習「 Ⅲ 」グループディスカッション 提案書

タイトル
[参加する人、管理者が Win - Win]

2024年11月10日	
班番号	12
進行役	
書記係	
発表者	

見える化プラットフォーム

〈広報〉

- 病院のプログラム
- クラブのつながり
- LINE 活用

〈コミュニケーション〉

- 敷居を下げる
- 企業、学生、団体を巻き込む
- 活動内容の見える化
- 世代・年令の連続性を作る

地域

- 学校
- 住民(町内会)
- 企業 団体
- 施設

公園管理者

相互が豊かになる

継続につながる
親から子へ

公園管理運営実践講習「3」グループディスカッション　提案書

2024年11月10日

班番号 13

進行役

書記係

発表者

タイトル

[持続可能なボランティア活動]

～0から始まる花壇ボランティアへ～



立ちあげ → 育成 → 役割

- 広報
  - 回覧・ホームページ
  - 市の広報紙
- 近隣施設
  - 大学、高校、サークルへ
  - 自治
- 知人、友人、常連来園者

- スキルアップ
  - 講師の誘致
- 定例会での交流
- 役割分担
- だんだん愛着がわいてくる

- 道具の充実
  - 場所
- 地域の課題のすくいあげ
- 計画、スケジュールの作成
- 財源の確保
- 紹介
- ボランティア保険

公園管理運営実践講習「 Ⅲ 」グループディスカッション 提案書

タイトル
[土地域コミュニティを支える公園作り]

2024年 11月 10日	
班番号	14班王
進行役	
書記係	
発表者	

地域コミュニティの希薄さ

・既存のボランティアを公園に呼びこむ

・職場体験や学生ボランティアの積極的な受け入れ



ボランティアに対するハードル…

・楽しめるイベントとして、ボランティアの入口を作る

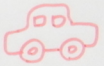
・気軽にだれでも参加できるような内容で、プログラムを設定する！

地域課題

公園へのアクセス悪い…

・行政と連携して巡環バス呼んだり、スタンプラリー、地域通貨を取り入れる

・アクセス方法をHPやSNS、園内掲示で発信!!



高齢化、少子化

・健康スポーツイベント
（地域包括支援センターとの連携）

・文化的、歴史的なイベント





公園管理運営実践講習「Ⅲ」グループディスカッション　提案書

2024年 11月 10日	
班番号	15班
進行役	
書記係	
発表者	

タイトル
[プラットフォームで全て解決!!]

課題

（ボランティア側）
- 人材不足、活動費不足
- 高齢化
- 登録が面倒

（管理者側）
- 活動スケジュール調整
- 参加スタイル（ボラの会 or 誰でも）
- ボランティアの要望把握

解決策

- 研修制度
- 助成金
- 月例ミーティング
- プラットフォームの構築

展開

地域に根付いたボラさんを
まき込み防災・災害対応を
協働力で取り組める…など

公園管理運営実践講習「 Ⅲ 」グループディスカッション　提案書

2024 年 11 月 10 日	
班番号	16
進行役	
書記係	
発表者	

タイトル

[地域の人たちが主役になる公園づくり]

～公園の管理者がつなぐ

地域の課題

- ボランティア参加が少ない
- 高齢化（きてん）
- 若年層とのつながりが少ない
- ボランティア活動の認知度が低い

